



◎校長からのメッセージ 『一生懸命の志高生に人々はひき寄せられる』

志津川高等学校校長 山内 松吾



感動的な卒業式が終わり、**卒業生は胸を高鳴らせて学び舎を巣立っていきま**した。もうすぐ新年度が始まり、新しい入学生を迎えることとなります。学校では、部活動勧誘や生徒会による歓迎行事の準備に、新2・3年生は一生懸命です。

さて**震災から6年が過ぎました**。慶應義塾大学は、その間ずっと、「**南三陸プロジェクト**」という事業を立ち上げ、部活動などを通じて、本校との交流を継続しています。今年の夏は、志高生徒会のリーダー養成の一環として、プレゼンテーションやディスカッションのノウハウなどをみっちり仕込んでいただくことになっています。

その他にも、多くの高校や支援団体が志津川高校との交流を希望しています。

でも、なぜ彼らは本校との交流を望んでいるのでしょうか。

その問いのヒントは、**震災の苦難から一生懸命立ち上がろうとしている志高生の元気な姿にある**ようです。生徒たちの未来はこれからどうなるのか。そして、町は……。また今年も暖かい春がやってきました。不安は尽きませんが、**みなさん、ともに元気でがんばりましょう**。



3月1日・卒業証書授与式

～情報ビジネス科第19回・普通科第69回～

羽ばたけ!! 志高健児!



【クラス代表が卒業証書を受け取る】



【緊張した面持ちで授与式に臨む】

3月1日(水) 本校第一体育館を会場として、卒業証書授与式が行われました。この日は**83名(情報ビジネス科22名、普通科61名)**の生徒が本校を巣立っていきました。

生徒たちは、学習、部活動はもちろん、生徒会活動や学校行事などあらゆる場面で切磋琢磨しながら努力を続けてきました。そして志高健児として大きく成長し、この晴れの日を迎えました。**一人ひとりが志津川高校生として誇りを持ち、胸を張って卒業していきました**。

慶應高校との交流練習会

3月11日（土）神奈川県にある**慶應高校**の生徒の皆さんとそのOB・OG及び関係の方々が来校し、本校**柔道部**や**卓球部**とともに**練習で汗を流しました**。慶應高校は南三陸町の山林の一部を所有しており、毎年3月にその手入れを兼ねて来町しており、その際、本校の運動部と合同練習会を行っています。

この日は「**みやぎ鎮魂の日**」でもあり、午後からは様々な行事が控えていることから午前中の短い時間を利用しての練習会でしたが、**熱気あふれる充実したひとときを過ごすことができました**。



【個別に指導を受ける・卓球部】



【汗を流した後の記念撮影・柔道部】

2学年 救急救命法講習会

3月13日～17日

3月13日から17日にかけて、**2学年を対象とした救急救命法講習会**が行われました。この講習会は、教育の一環として毎年実施されておりますが、家族や友人などの万一の事態に備え、**心肺蘇生法**および**AEDの使用法**を学び、**救命手当について習得することを目的**としています。

2学年4クラスが4日間に分かれ、**具体的な救命法について学びました**。今回は**南三陸消防署**の署員の方々を講師にお迎えして、懇切丁寧に指導していただきました。



【講師の方から説明を受ける】



【人形を使った心肺蘇生の練習】